



KOBO ORIZA Co., LTD.

FINELY WOVEN FABRIC IMABARI, JAPAN

「布と人」

Philosophy and Passion of Manufacturing

PROLOGUE

「織り」に魅せられて 3

CONCEPT

織物で、あなたの「ものがたり」を愉しくする 5

FACTORY

大正時代の織機から 今に息づくものづくり 7

BRAND

kobo oriza | 今日をまとう、遊びどころ 11

BRAND

FREE FRACTAL FABRIC | 明日につむぐ、自由のかたち 15

LOCATION

しまなみ海道の終着点 美しい島々、海と山に囲まれた町「今治」 17

PROJECT

水布人舎 | 布と人の未来を考える タオル創造プロジェクト 19

INFORMATION

SHOP & COMPANY 21

「織り」に魅せられて

たて糸とよこ糸が交差して生まれる織物は、糸の素材や太さ、色などの組み合わせによって、さまざまな表情をみせてくれます。

さかのぼれば、織物と人間の関係は、数千年も前から。

それは生きるための知恵として、あるいは、暮らしの愉しみとして、いつの時代にも寄り添い、人々の心を豊かにしてきました。

工房織座もまた、先人たちがそうあったように「織り」に魅せられ、ものづくりに挑み続ける作り手たちが集う場所です。

わたしたちは、国内屈指のタオル産地、愛媛・今治にありながら、マフラーやストールといった服飾雑貨にも可能性を見出し、独自の発展を遂げました。工房では、100年以上前の旧式織機を今も大切に使い続けています。最新の機械のようにスマートにはいかない

けれど、カシャンカシャンと音を立てながら、ゆっくりと生まれる織物の独創的な模様と、あたたかな風合いはわたしたちの誇りです。

そして今、自社で培ってきた経験をいかし、仲間たちと手を取り合いながら、織物の産地・今治としての可能性と向き合い、さらなる一步を踏み出そうとしています。

織物の豊かな個性を次の時代にもつなぐことで、肌で感じられる幸せが末永く続いていくように願っています。

織物の原点「平織（ひらおり）」

経糸（たていと）と緯糸（よこいと）を交互に浮き沈みさせて織る、最も単純な織物組織。丈夫で摩擦に強く、広く使われている。綾織（あやおり）、朱子織り（しゅすおり）と並び、三原組織の一つとされる。

CONCEPT

織物で、あなたの 「ものがたり」を愉しくする

毎日手に取り、肌にふれる織物は、「生活」にかかせないものです。

けれども、あなたの「暮らし」に同じ日の繰り返しはありません。

季節や天候の移ろい、

人と人との関わり合い、

うれしいこと、かなしいこと。

それは、生きることの全てをかかえて
続いていく「ものがたり」です。

目が覚めて、日が暮れるまで。

わたしたちの織物が少しでも

あなたのそばにすることで、

今日という一頁をもっと愉しくしたいから。

わたしたちもまた、

先人たちの「ものがたり」を受け継ぎ、

織物の明日に向き合います。

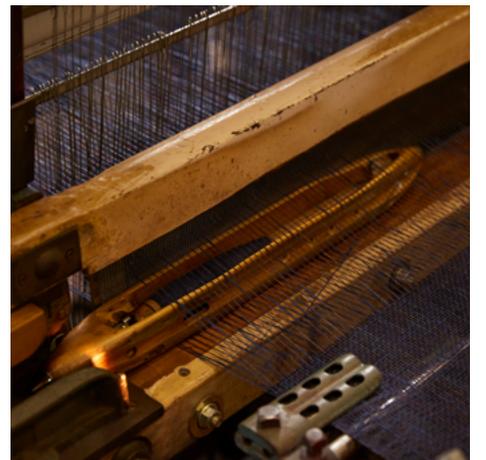
大正時代の織機から 今に息づくものづくり

玉川町鬼原。愛媛・今治の自然豊かな山間に、工房織座があります。タオルの産地として知られる今治ですが、この工房でつくられるのは、マフラーやショール、キャップなどの服飾雑貨。きっかけは、タオルメーカーに長年勤めた1人の職人と100年前のシャトル式織機との出会いでした。大量生産の時代。最新の機械や高度な技術が熱視線を浴びる中、彼が魅せられたのは、昔ながらの織機だからこそできる織りの表現の奥深さ。壊れて動かなくなった旧式織機を全国から集めて、復元と改造を重ね、世界でここにしかない「着尺一列機」が誕生したことから、工房織座のものづくりが始まります。

個性的な織機が並ぶ工房
1915年製の豊田Y式織機2台をはじめ、昭和中期までに製造されたシャトル式織機が9台が並ぶ。
各々に独自の改造を施した織機からは様々な織物が生まれる。同じものを安定して、早く、たくさん作るという近代の潮流の逆をゆく生産体制は工房織座の織りに対する探究心の強さの表れである。

この唯一無二の織りをいかすため、工房では、今も手仕事を多く取り入れています。繊維を傷めないようにやさしく洗い、1枚ずつ丁寧に干して自然乾燥。フリンジも、人の手で結い上げています。手間と時間を惜しまないものづくりには、作り手の想いが込められています。





**工房織座代表一職人
武田正利**

1950年今治市生まれ。近代化が進むタオルメーカーの工場長を長年勤めた生粋の織職人。タオル地の「コットンマフラ」を世に定着させた開発者の一人でもある。退職後、2005年に54歳で工房織座を創業。新しい織りや形のアイデアを可能にするため、試行錯誤を重ねた結果、小幅で旧式のシャトル織機にたどりついた。半世紀以上、織物開発に携わり、今もなお、その可能性を追求し続けている。

kobo oriza

今日をまとう、遊びごころ



1

クロゼットから服を選ぶとき、理想の一日を思い浮かべて気分を高めるように。季節や天候、一緒に過ごす人のこと。そこにマフラーやストールがあることで、昨日とは違う、今日の組み合わせを愉しんでほしい。

そう思いながらもづくりをするうちに、さまざまな素材・色・模様が織りなす、個性豊かなウェアが生まれました。工房織座に受け継がれる、織物への探究心を体現したファクトリーブランドです。

1 ポタニカルオーガニック ライトスヌード

ポタニカル染めのオーガニックコットンを二重織りで筒状に仕上げたスヌード。40gと超軽量で、身に着け方も豊富に遊べる。

2 麻のゆらぎ R I N

工房織座独自の「たてよろけもじり織り」の綿麻ストール。涼やかなゆらぎの縞模様と通気性の高い、軽やかな織りは春夏の巻物に最適。



コットンキャップスラブ
綿100%ながら伸縮する、織りで形作った、無縫製仕上げのキャップ。リバーシブルにターバンやネックウォーマー、ミニマフラーにもなる多機能アイテム。※意匠登録



ウール空のスヌード
二重織りで作った大小二つのトンネルのあるオリジナル形状のスヌード。首を通したり、生地を通したり、いろいろなアレンジを愉しめる。

ウールかわり織りマフラー
4つの変わり織り柄をミックスしたウールマフラー。たて糸とよこ糸の様々な織りの組み合わせが豊かな表情を生み、巻く度に新鮮な印象に仕上げてくれる。



FREE FRACTAL FABRIC

明日につむぐ、自由のかたち

FREE FRACTAL FABRIC



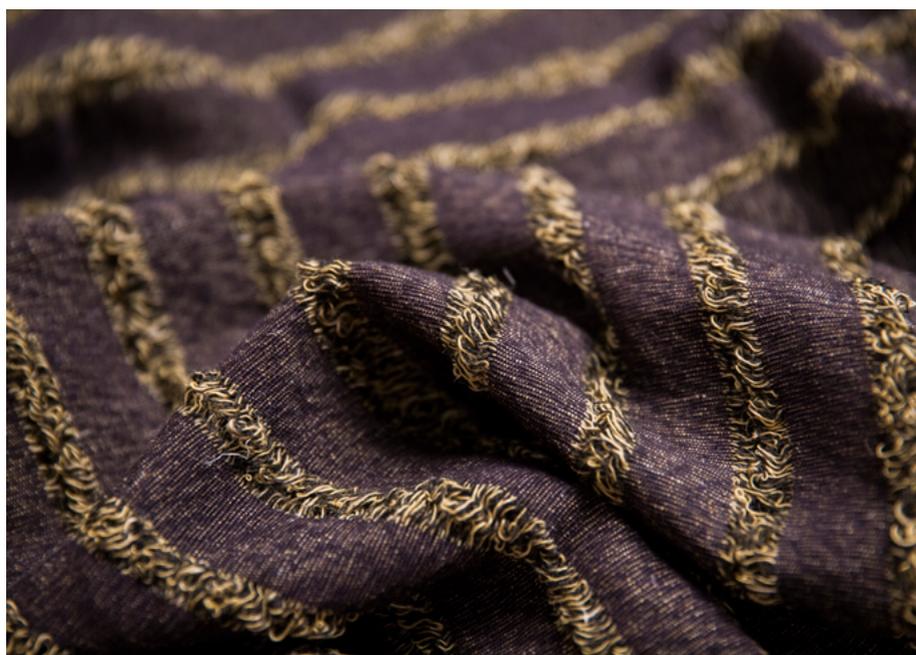
たとえば、樹木の枝分かれ、稲妻、雪の結晶。自然界のいたるところに存在するフラクタル構造。
自由であるように見えて調和のとれたその佇まいに美を見出し、織物での表現に挑戦するストールブランドです。
旧式織機でゆっくりと織り上げた生地ならではのムラ感、使い込むほどに風合いが増すリネン素材。さまざまな偶然が重なり、長い月日をかけて肌に馴染んでいくような、特別な一枚を追求しました。

SPLIT wool linen

空羽（あきは）織りでストライプ状に裂け目の入ったグランジ風の大判シヨール。古着のデニムのような愛着を感じる1枚。

HOURLASS

異なる形の生地を織り技術で1枚にしたストール。砂時計形状の伸縮性のある生地とスクエアの生地をつなげた斬新なフォルムは首元の巻きやすさも考えた作りになっている。



しまなみ海道の終着点 美しい島々、 海と山に囲まれた町「今治」



四国地方の北西に位置する愛媛県今治市。瀬戸内海の壮大な自然を背景に、島々をむすぶ「しまなみ海道」は、サイクリストをはじめ、国内外から多くの観光客が訪れる人気のスポットです。また、日本一の建造量を誇る造船・海運業、国内のタオルの5割以上を生産する織物業など、古くからのづくりが盛んな町でもあります。

外国船によって綿花の種子が持ち込まれると、温暖な気候を生かして綿花が栽培されるようになり、かつては「伊予木綿」として隆盛を誇った時代もありました。

この地で培われた伝統を受け継ぎ、独自の製織技術を生み出したのが、今治のタオル産業のはじまりです。

高縄山系を源流とする蒼社川そうじやがわの伏流水は、不純物の少ない軟水で、繊維の晒しや染めに最適。肌ざわりがやさしく、繰り返し使ってもくたびれにくい良質な

織物が生まれます。その高い技術・品質は、世界的に注目を集めています。

今治には100を超えるメーカーが技術を競いながら今日も、ものづくりに励んでいます。分業制が主とされ、染工場をはじめ、縫製、刺繍、プリントなど織物に関わる様々な加工業者が多数あり、町全体が助け合いながら産業を支えています。

ジャカードタオル織機

今治は、先染めジャカード織りタオルの産地。織り技術の多様性では世界一といえる。その開発力を支えるのが、日進月歩するジャカード革新織機。



水布人舎

SUIFUTOSHA

布と人の未来を考える タオル創造プロジェクト



水布人舎
SUIFUTOSHA
Imabari, Japan



豊かな「水」の恵みに支えられ「人」の手を経て完成する「布」。

それは長い歴史の中で姿かたちを変えながら、いつも使い手の暮らしに役立ってきました。

水布人舎は、そんな「布」と「人」の幸せな関係が未来にも続くことを願って生まれたプロジェクトです。今治には100を超えるタオルメーカーが集積し、今日も綿織物の歴史を受け継いでいます。

それぞれに得意分野をもつ個性豊かな職人たちと、既成の枠に捉われず、独自の発展を遂げてきた工房織座が手を取りあって、新しいアイテムを生み出します。作り手の誇り、使い手の喜びを、お互いに感じられるものづくりで、タオル産地のさらなる発展を目指します。



LETTER & TOWELS

ポケットに収まりの良いサイズ感を考えて作った25×17cmのタオルハンカチ。「手紙」と「手布（ハンカチ）」をかけたレターパッケージデザインで、メッセージを添えて贈れる。

MASIRO
LIKE A POWDER SNOW
はじめて触れるような感動のやわらかさと驚きの軽さが特長のタオル「MASIRO（マシロ）」。水布人舎の第一弾企画にしてロングセラー。



株式会社 工房織座

794-0117 愛媛県今治市玉川町鬼原甲 55

KOBO ORIZA Co., Ltd.

55 Onibara-Kou, Tamagawa-Cho,
Imabari-Shi, Ehime 794-0117 Japan

TEL 0898-55-2564

FAX 0898-55-2584

MAIL info@oriza.jp



INFORMATION

SHOP &
COMPANY



WEB SITE

www.oriza.jp



KOBO ORIZA SHOP

営業時間: 平日 9:30-16:00

休日: 土/日/祝日は不定休

(WEBサイトカレンダーに掲示)

お問合せ: 0898-55-2564



MOVIES

KOBO ORIZA CO., LTD.
CHANNEL

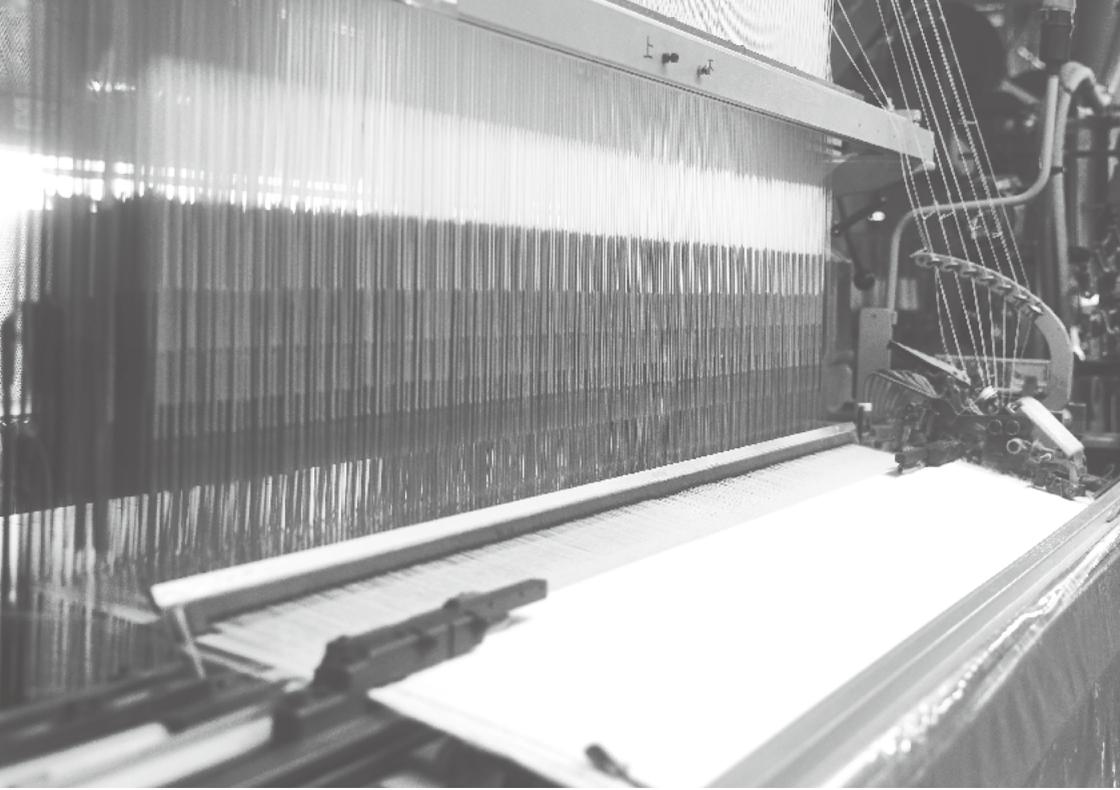


ONLINE SHOP

http://oriza.shop-pro.jp/



今治の工房に併設された直営店「KOBO ORIZA SHOP」では、工房織座ブランドの全てのアイテムがご覧いただける、織物の風合いを直接手に取って比べながら、お気に入りの一枚を見つけることができます。工房の見学や明治時代の足踏み織機を使ったワークショップも随時受け付けております。今治にお越しの際は、是非立ち寄りください。



工房織座



KOBO ORIZA Co., Ltd. FINELY WOVEN FABRIC IMABARI, JAPAN